

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月6日(16:00～18:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 江口・川又・太田・佐藤・植草・峯岸・森・山口
大塚・渡邊・佐藤歩・小関 玉木・石岡・船原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	4人	0人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・担当制度を昨年以上に機能させていく為に、月に1回の事業所内でのモニタリングと目標の達成度、本人との関わりを増やし出来ている所とつまづいている所のアセスメントを強化していく。 ・御家族との関係性を深めていく為に、各担当職員が担当者会議や送迎時でのモニタリングを積極的に行い関係性を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・1か月に1回のモニタリングでは担当職員が2～4人持ち利用者のつまづいている所や出来る所を見極め支援に努めている。 ・ご家族からの要望にも出来るだけ応え、ご家族からの要望と利用者本人の気持ちに乖離が無いように努め不安なく初期支援にあたっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	9	5	1	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	13	2	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	12	3	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	11	3	1	15

できている点
200字程度で、できていることと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わりを持った職員が本人のストレングスを日々の申し送りで共有できている。 ・連絡ノートにご家族が積極的にコメントを記入してくれるので活用できている。

- ・送迎時に家族との会話を積極的に言いニーズや困っている事、不安なことを把握するように心掛けている。
- ・フェイスシート・アセスメントシートで事前に情報を得るように努めている。
- ・最初の関わりがとても大切という事はいつも心に留めて支援している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・情報の共有が出来ていない事があり支援が統一されていない。
- ・利用を開始してからの変更点が情報共有できていないケースがある。
【カンファレンスは月に一度開催しているが勤務形態・交代勤務の関係上参加する人数に限りがある為】
【変更点を口頭で申し送り、業務日誌への転記や当日出勤していない職員への報連相が上手くいっていない】
- ・拒否をされた時の対応や慣れていない方への声掛けに難しさや苦手意識がある
【なぜ拒否をするのかを話し合う時間が持てない】

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・一人でも多くの職員がカンファレンスに参加できるように年間行事と抱き合わせにしていく。
- ・小多機は流動的で日々支援内容が変わっていくので変更点は口頭だけではなく業務日誌に転記し担当職員や日直者からも全員が周知するまで昼の申し送りで伝えていく。

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 6日 (16:00 ~ 18:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 江口・川又・太田・佐藤・植草・峯岸・森・山口
大塚・渡邊・佐藤歩・小関 玉木・石岡・船原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	7人	0人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・各自、自身の担当についての目標は理解しているが担当利用者以外の目標を把握するところまで出来なかったので総括表を普段から見える場所に置くようにし理解を深めていく。・本人の思いやゴールを全て実現させることが重要なのではなく、「思い」を傾聴し寄り添うことを大切に支援をしていく。その「思い」と言語化して目指すべきゴールを明確にしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・前回の改善計画で上がったモニタリング総括表は職員が目を通せる場所に置き毎月確認している。・担当職員と CM で利用者個々の「～したい」の実現をケアプランに具現化して見える化している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	8	7	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	6	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	11	0	15
④	実践した (かかった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	5	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者を担当制にしてモニタリング総括表等で情報を共有できている。・担当制にすることにより「～したい」という思いを担当が把握し在宅で生活が続けられるように支援している。・利用者ひとりひとりの話を傾聴できるように心掛けている。・利用者の「～したい」をミーティング等で話し合い今後の対応策を考え次の支援に活かしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・新規の利用者が複数いると本人の思いや目標が混同してしまう時がある。 ・日々の関わり（支援）は出来るだけ積極的に行うようにしているが目標を意識することは少ない。 <p>【カンファレンスで個々の対応について話し合う機会が少ない】</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回カンファレンスを開催しているが行事の事、インシデント・アクシデント検討、各担当、等々議題が多くあり <p style="padding-left: 20px;">担当からの意見を発言する機会が限られてしまうので月に2回会議を設け業務改善会議と利用者のみのカンファレンスを開催していく。開催するにあたり参加できない職員もいるので事前にアンケートを取り全ての</p> <p style="padding-left: 20px;">利用者の「～したい」を具現化していく。</p>	

事一②

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月6日(16:00～18:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 江口・川又・太田・佐藤・植草・峯岸・森・山口
大塚・渡邊・佐藤歩・小関 玉木・石岡・船原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	4人	1人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングに参加できない職員に対しては事前に、話したい内容を書面にて聞き出して会議の場で伝えていく。 ・本人の「以前の暮らし方」を10個以上把握し、歩んできた生活歴の中で大切にしている所を職員で共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングに参加できない職員に対し書面上でのやり取りは無く口頭のみになっていた。 ・本人の「以前の暮らし」についてはフェイスシートに落とし込むようにしてはいるが各職員が把握できているのかは疑問が残る。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	11	4	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	13	2	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	7	2	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	12	2	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	11	3	1	15

できている点
<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の気持ちや体調の変化に気づいた時は記録として残したり申し送りをしている。 ・体調の変化はバイタル測定だけではなく状態の変化から感じるとる事が出来た場面もある。 ・食事・排泄・入浴は利用者に合わせて支援できている。 ・体調に変化があった時は上長に報告し医療連携も取れている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報共有の点で全ての職員が把握するまでに時間がかかってしまう。 ・ 利用者との関わりの中でどこまで踏み込んでいいのか分からない時がある。 ・ 以前の暮らしについて事前情報（生活歴）以外、本人から聞き出せない方もいる。 ・ 以前の暮らしを 10 個以上把握するのに時間がかかってしまう。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の業務の中で利用者と担当職員で対話する機会を設け以前の暮らしや今の暮らしをひもとき本人の声にならない声を代弁していく。 	

事-③

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月6日(16:00～18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 江口・川又・太田・佐藤・植草・峯岸・森・山口
大塚・渡邊・佐藤歩・小関 玉木・石岡・船原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	8人	0人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・社会資源についての勉強会を開催する。・地域の資源とは個人によって資源が異なることを理解し、生活の中での社会との関わりとしてアセスメントを行っていく。(スーパー、病院、馴染みの美容室等)
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・社会資源についての勉強会は実施できていない。・利用者が通い慣れたスーパーを利用することは出来ている。・利用者が通い慣れた〇〇について情報をキャッチ出来ていない(認知症の状態になり聞き取りが出来ない等)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	10	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	5	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	12	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	9	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・これまでの生活についてや人間関係について雑談の中から情報を得ようとしている。・独居の方が自宅で不安なく生活が送れる様に地域の方や民生委員の方との交流に配慮している・利用者との対話の中で得た情報を聞き逃さずに生活スタイルを理解し希望のスーパー等にお連れしている。・訪問や送迎の時に近隣の方への挨拶を積極的に行っている。・本人とご家族との関係が良好に保てるように情報を細目にとって情報を共有している。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域資源について（民生委員等）把握できていない。
- ・ご家族の意向と本人の状態に相違点があり支援が困難な場合がある。
- ・訪問や通いサービスを利用されていない時間をどのように過ごしているのか把握できていない所もある。
- ・かかりつけ医は把握しているが買い物場所などは他スタッフの知識や情報に頼って仕事をしている。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・地域資源（行政・NPO 法人・介護事業者・医療関連・民間企業・地域）を掘り下げて昨年できなかった地域資源とは何かを理解していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月 6日 (16:00 ~ 18:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 江口・川又・太田・佐藤・植草・峯岸・森・山口
大塚・渡邊・佐藤歩・小関 玉木・石岡・船原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	3人	0人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 今まで以上に地域に事業所の周知を図り、地域資源の活用、協力いただける態勢を構築する。 「地域の資源を把握する」 <p>方法としては、職員が地域に出向き、どこに何があるかなどをマップ化し、把握していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 地域包括と連携を図り、地域マップの作成を目標にしていたが他業務を優先にしまい取り掛かれな い <p>まま1年が経過してしまった。</p> <p>認知症カフェや地域での活動には目を向け協力体制に取り組んだことは一定の評価とする。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけでええようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	9	5	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	11	1	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	11	2	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	14	1	0	15

できている点
<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 本人の体調や家族の状況に応じて臨機応変に「訪問」「通い」「泊り」のサービスが展開出来ている。 地域の行事などに参加し資源を使って支援できている。 ご本人の健康状態に変化があった場合も緊急に宿泊サービスを利用するなど臨機応変な対応が出来ている。 毎日の申し送りの中で利用者の変化や健康状態を共有し合い支援にあたっている。 現状できるサービスの方法を個別の条件に合わせ何度も話し合い、その方向性や状況に応じ変更出来て

いる。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・日々の変化について記録が不十分だと感じる時がある。

【理由としてはアセスメント力や状態の変化について何を残したら良いのか分からないのではないか】

・地域の社会資源の把握や活用が不十分

・利用者の暮らしている地域でどのような催し物があるのか？ボランティア活動があるのか？を理解できていない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・地域マップの作成（地域包括支援センターに協力を仰ぐ）

事一⑤

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月6日(16:00～18:00)

6. 連携・協働

メンバー 江口・川又・太田・佐藤・植草・峯岸・森・山口
大塚・渡邊・佐藤歩・小関 玉木・石岡・船原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	3人	7人	15人

前回の改善計画
・地域へのイベントや行事には積極的に参加し職員の顔も覚えてもらう。 ・地域住民が気軽に訪問できる様に環境を整え、イベント等を企画し回覧等で宣伝し地域との交流の機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域行事にはできる限り率先して参加をしている。 ・ご家族には、かえで通信にて次月のイベントを伝えている。近隣の方へのアプローチはプライバシー保護の観点から先に進めていないのが現状。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	2	3	8	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	1	14	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	8	1	6	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	9	4	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・困難事例に対してあんしんケアセンターと協力をして支援方法を検討している ・担当者会議や退院前カンファレンスに担当職員も参加している。 ・地域交流室を開放して月に2回書道教室を行っている。 ・定期的にボランティアによる演奏会を開催している。 ・さくらんぼ保育園の園児による歌の披露や地域の子供が来所しブンブンコマを披露してくれた。	

- ・同グループによる連携を行い、停電時に入浴支援を他施設で行った。
- ・訪問看護や武村内科医院との医療の連携は図れている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域に出向いての活動やイベント参加は限られた利用者になってしまっている。
(理由としては職員の配置人数によるもの。利用者のADLや認知機能も関係している)
- ・地域の集まりや地域包括支援センターとの会議には参加できていない。
(地域との関わりの薄さや職員の配置人数によるもの)

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・イベント時、職員の配置人数を多くし「行きたい。参加したい。」という利用者の声を反映し利用者と共に参加し
地域との関わり、そして地域の方と協働して利用者本人を支えていく。

事-⑥

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月6日(16:00～18:00)

7. 運営

メンバー 江口・川又・太田・佐藤・植草・峯岸・森・山口
大塚・渡邊・佐藤歩・小関 玉木・石岡・船原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	8人	5人	2人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等を定期的実施し災害時や緊急時に近隣住民の方にも協力できる体制を整えていく。 ・地域住民や地域ボランティア、自治会の方に事業所の特性を話し地域で暮らす一人の利用者を支えていく仕組みを確立させる。 ・職員が運営推進会議に交代で参加して地域での取り組みを知る。 ・頂いた苦情や意見を今後の事業運営に活かす取組みを強化する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・年3回実施している避難訓練に関しては運営推進会議のメンバーにも声をかけ数名参加して頂く。 ・地域住民の方に事業所の特性を話す機会は作れなかった。 ・各セクションのサブリーダーが運営推進会議に参加することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	3	9	3	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	13	1	1	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	5	1	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	8	5	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方からの苦情に関して迅速に対応が出来る (訪問時の駐車スペース・利用者がスーパーで困っている等) 利用者、ご家族からの意見や要望は迅速に上長に報告をする体制が整っている。 ・事業所に対して改善したほうは良いと思う事は意見を言うようにしている。

・苦情に関しては事業所、そして職員を成長させるきっかけになることが多いので真摯に受け止めている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域に必要とされる拠点であるための積極的な取り組みは出来ていない。
- ・ご家族から積極的にご意見を聞く機会が少ない。
- ・職員が交代で運営推進会議に参加できていない。
- ・地域と協働した取り組みが行えていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・運営推進会議に参加できない職員が多数いる。地域密着型サービスである以上、運営推進会議のメンバーの意見や地域の方の意見は必須。運営推進会議の会議録を各セクションに配布していく。
- ・自治会の方に事業所（グループホーム・小多機）の特性を話し地域で暮らす一人の利用者を支えていく仕組みを確立させる。

事一⑦

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月6日(16:00 ~ 18:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 江口・川又・太田・佐藤・植草・峯岸・森・山口
大塚・渡邊・佐藤歩・小関 玉木・石岡・船原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	4人	6人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止対策委員会を設立しリスクマネジメントの検討、対応の強化を図る。 ・職員が外部研修に参加した後、事業所で研修内容を学べる体制を整える。 ・予見されるリスクに対応する原因や対応策の強化を図る為に書式の見直しを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止対策委員会の設立は未だ準備段階だが事故防止に関してはリーダー会議やミーティング等で追体験して原因、背景、そして対応策について討議を重ねる取り組みをしている。 ・インシデント・アクシデントレポートの書式を見直し利用者の思いや行動心理症状、環境因子等に目を向けて 同じインシデントやアクシデントが起こらない取り組みをしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	5	3	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	5	6	15
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	14	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	7	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職場内外の研修に参加できている。 ・誤嚥や転倒が起こらないよう対応策を考えている(利用者個々に合わせた食事形態・人感センサーの使用) ・インシデント・アクシデントについては申し送り時やカンファレンス時に話し合い次に同じ事が起こらないように 	

職員同士情報を共有している。

- ・かえで内の知識を高めケアに活かす研修を実施している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職場内の ojt について上手く機能できていない。
- ・事故対策やアクシデントについて情報伝達が遅い、原因や対応策を共有しきれていない。
- ・地域連絡会に参加していない。
- ・外部研修に行く機会が少ない
- ・リスクマネジメントには取り組んでいるが不十分だと感じる。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・事故防止対策委員会を立ち上げ介護だけではなく看護師にも委員会に参加し多方面からの視点で対応策を考え同じインシデントを繰り返さない取り組みをする。
- ・職員が外部研修に参加した後、事業所で研修内容を学べる体制を整える（昨年同様）

事一⑧

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10月6日(16:00～18:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 江口・川又・太田・佐藤・植草・峯岸・森・山口
大塚・渡邊・佐藤歩・小関 玉木・石岡・船原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	3人	0人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度については事業所内で研修の機会を設ける。フォーマルとインフォーマルサービスについて理解を深めていく。・利用者に対する声掛け(トイレや入浴の誘い等)については自尊心や尊厳に十分に配慮した対応に努めていく(適宜職員にアンケートを取り意識を持つ)
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・現在、小多機で成年後見制度を利用してる方は2名いるが、成年後見制度についての勉強会は実施できていない。・利用者に対する排泄等に関する声かけは職員ひとり一人意識している姿は見受けられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	5	1	0	15
②	虐待は行われていない	8	5	2	0	15
③	プライバシーが守られている	0	11	3	1	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	5	2	1	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	5	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・身体拘束廃止委員会があり適宜、研修や会議を実施している。・身体拘束、虐待、個人情報、プライバシー保護は常に意識しながら業務にあたっている。・成年後見制度は必要な利用者には活用できてる。

・個人記録などは利用者に見られないようにしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・入浴や髭剃りを行う際に認知症の状態もありどうしても拒否が強く手や足を一時的に抑えないといけ
ない利用者がある。

利用者のトイレ誘導の際は、声掛けに配慮はしているが忙しい時は無意識に出てしまう時がある。

・申し送り時に利用者の話をフロアで行っている。

【理由としては見守りの必要があり大義名分のもとで意識が低くなってしまっているのではないか】

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・日々の申し送りの時に個人情報とプライバシー保護の観点からイニシャルを用いて申し送りを行う。
または、見守りの職員を付けて地域交流室にて申し送りを行う。

事-⑨

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 穩寿会	代表者	理事長 武村 和夫	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり一人の『笑』顔を大切に『多』様な想いに応え、暮らしの『喜』びを共に感じ、『生きがい』や『やりがい』を多く持てるように支援していきます。 ・食卓では菜園で採れた季節の野菜の彩り、香りを楽しんで頂いております。 ・お祭り、運動会、地域行事、併設のホームとのイベントも多く行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム かえで	管理者	センター長 夏迫 鈴子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	4人	0人	2人	1人	0人	4人	1人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人の声にできないノンバーバルの想いや「～したい」のプラスの思考を計画作成担当者、担当職員で考えケアプランに反映させ『見える化』していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価の各項目については、スタッフ全員が取り組み、ミーティング様式でまとめを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～したい」について、利用者の入れ替わりが多い中でも本人をアセスメントし毎月モニタリングを行い情報を共有している。 ・退職する職員もいない様子で事業所としてまとまりを感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を行う意義を理解するために、ミーティングを複数回行ない事業所自己評価を行う意義と目的を明確にしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の玄関は自動でタッチ式になっているので自由に入出りができる利点を活かし、今後も継続していく。 逆に職員が手薄な時間帯もあるため、業務の改善や職員の配置の変更も視野に入れていく。 ・利用者が座って過ごす時間が多い時があるので介護予防運動やアクティビティに力を入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の玄関はタッチ式になっていて開閉時にメロディが流れて職員ひとり一人利用者の出入りや家族や訪問者に目を向け気を配ることが出来ている。 ・利用者が座って過ごすことが多いと前回の改善計画で上がった。取り組みとしては午前中の体操や生活リハビリ、散歩等のアクティビティを提供したが職員の人数不足により思うように実施できない日が多くあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方による書道教室が月に2回行われているが参加者も多く安定している ・利用者や職員に笑顔が多くみられる ・施設特有の匂いが無い ・いつも感じ良く迎え入れてくれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員の方に事業所の雰囲気や取り組み（行事等）を可視化していく（パワーポイントを用いてスクリーンで上映する） 事業所の環境については美化委員を中心に整理整頓に心がけていく。 壁面の掲示等にも担当ごとに今以上に役割を持っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と協力しながら地域の方に頼られる事業所を目指す。 ・穩寿会ホームページ内のフェイスブックを広め事業所行事や地域とのかかわりを今以上にアピールしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で行われている認知症の声掛け運動に参加して地域密着型のサービスを知ってもらえた。 地域のスーパーや理美容を活用し地域とのパイプを繋げていく事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で会っても挨拶してくれる。 ・地域で行われているイベントに参加していることは知っているがどれだけの人が参加しているかは把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> かえで全体で行われる事業所行事や消防訓練等に地域の方にも参加して頂き、先ずは顔見知りの関係を作り、地域に出向きやすい環境を整えていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が地域で活躍の場を持つことで存在意義も出てくると思うので近隣の方との挨拶やゴミ拾いとすぐにできることから一歩ずつ始めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人を支える取組みとしてゴミ出しや見守り、そして地域スーパーとの連携と、その人が地域で過ごしていける取組みを行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議等、地域の方を交えた会議を行っているが地域密着型の特性を活かしきれていない。(昨年同様意見) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり一人、地域での活躍できる場所や取組みを担当と CM で情報収集してフォーマルとインフォーマルのサービスを組み合わせる。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクシデント、インシデントの様式の見直しを行い、多方面から検討できる様にする。 ・地域で心配な高齢者の検討を地域包括支援センターと連携を取りながら支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困難事例のケースでは運営推進会議で意見を求める他、あんしんケアセンターを交えての地域会議を開いていただき、様々な視点から意見をもらうことができた。 <p>アクシデントレポート・インシデントレポートを細分化して背景をしっかりと探り PDCA のサイクルで同じことを繰り返さない取組みを行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や避難訓練等を運営推進会議で紹介して協力できる所は協力していきたい。 ・会議では事業所の取組みを説明しているが、誰でも閲覧できる仕組みがあってもいいのではないか。 <p>運営推進会議の議事録を回覧する事は出来ないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか言いたいことが言えない 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議への不参加者への対応（事前アンケートや意見聴取） <p>運営推進会議で発言しやすいような環境を整える。 (アイスブレイク) (討議したい内容を事前に説明し意見を出しやすくする)</p> <p>地域の心配な方について事例検討をおこない必要性があれば介護保険サービスや小多機のサービスに展開していく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等を実施する日が分かった時点で運営推進会議のメンバーに参加を募り、避難訓練に参加し意見を求めていく。 ・避難訓練の内容によっては近隣の住民の方に参加していただく。 ・防災マップや避難場所の掲示をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議のメンバーを交えての消防訓練（水消火器・火災に備えての DVD 鑑賞）の実施 <p>近隣の住民への周知はハード面もあり未実施。</p> <p>(前年度同様)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップや避難場所の掲示を前回の改善計画に掲げたが実施することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回消防訓練をやっているのは知っている。(前年同様) ・いつ何時災害は起こるか分からないので避難訓練（防災対策）はしっかり行ったほうがいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて引き続き防災計画書や消防訓練の予定を投げかけ防災訓練への参加を呼びかけていく。 <p>地域の防災訓練や防災フェスタに利用者、入居者、ご家族、職員で参加をし、地域に特化した訓練を体感していく。</p>

